

中部地方整備局事業評価監視委員会（令和3年度第3回）

議 事 概 要

1. 日 時 令和3年12月13日（月）15:00～17:00
2. 場 所 KKRホテル名古屋 3階 芙蓉の間
3. 出席者
 - 事業評価監視委員会委員
沢田委員長、富永副委員長、水谷委員、高瀬委員、原島委員、朝日委員、松本委員、今泉委員
 - 中部地方整備局
堀田局長、山本副局長、天野副局長、企画部長、河川部長、道路部長、用地部長、営繕部長、港湾空港部長、公園調整官
4. 議 事
 - 1) 対象事業の説明・審議
(再評価)
 - 【港湾整備事業】
衣浦港 武豊北ふ頭地区 国際物流ターミナル整備事業
 - 【道路事業】
一般国道138号 須走道路
一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）
一般国道1号 北勢バイパス
一般国道23号 鈴鹿四日市道路
一般国道23号 中勢道路
 - 2) 報告
 - 【河川事業】
狩野川直轄河川改修事業
櫛田川直轄河川改修事業
木曾川総合水系環境整備事業
櫛田川総合水系環境整備事業
宮川総合水系環境整備事業
5. 配布資料
 - ・委員会開催資料（議事次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、配付資料一覧）
 - ・資料1 再評価に係る県知事等意見
 - ・資料2 対応方針一覧表
 - ・資料3 一括審議案件に対する意見等について
 - ・資料4 衣浦港 武豊北ふ頭地区 国際物流ターミナル整備事業 説明資料

- ・資料 5 一般国道 1 3 8 号 須走道路
一般国道 1 3 8 号 御殿場バイパス（西区間） 説明資料
- ・資料 6 一般国道 1 号 北勢バイパス
一般国道 2 3 号 鈴鹿四日市道路
一般国道 2 3 号 中勢道路 説明資料
- ・資料 7 狩野川直轄河川改修事業 報告資料
- ・資料 8 櫛田川直轄河川改修事業 報告資料
- ・資料 9 木曾川総合水系環境整備事業 報告資料
- ・資料 10 櫛田川総合水系環境整備事業 報告資料
- ・資料 11 宮川総合水系環境整備事業 報告資料
- ・資料 12 再評価に係る資料【港湾事業】
- ・資料 13 再評価に係る資料【道路事業】
- ・資料 14 報告に係る資料【河川事業】

6. 主な審議結果等

1) 再評価対応方針（原案）については以下のとおりとする。

【港湾整備事業】

衣浦港 武豊北ふ頭地区 国際物流ターミナル整備事業 . . . 了承

【道路事業】

一般国道 1 3 8 号 須走道路 . . . 了承

一般国道 1 3 8 号 御殿場バイパス（西区間） . . . 了承

一般国道 1 号 北勢バイパス . . . 了承

一般国道 2 3 号 鈴鹿四日市道路 . . . 了承

一般国道 2 3 号 中勢道路 . . . 了承

2) 委員会当日に委員より出された意見・質問及び回答

項目	意見・質問	回答
<p>(重点審議) 衣浦港 武豊 北ふ頭地区 国際物流ター ミナル整備事 業</p>	<p>(資料4) P1 に、中部国際空港 への航空機・主翼のシーアンド エアー輸送とあるが、半田市エ リアで実際行われているのか。</p>	<p>半田市エリアと名古屋は航空産業 の特区となっており、航空機の主翼 等を生産し、衣浦港から中部国際空 港まで船で輸送し、中部国際空港か ら米国へ航空機で輸送している。</p>
	<p>(資料4) P7 にて、船舶の大型 化が進んでいるとの説明があ ったが、整備する岸壁の水深は 12mで足りる見通しなのか。</p>	<p>取扱貨物量の見込み等も踏まえ水 深12mで足りるものとして計画し ている。</p>
	<p>(資料4) P8 の事業の投資効果 について、前回評価と比べ便益 と費用、両方とも増加している 理由は何か。</p> <p>また、防波堤撤去について、 工法変更に伴う事業費への影 響はないのか。</p>	<p>費用対効果分析を行う上で考慮す る社会的割引率の影響によるもの である。</p> <p>当初の工法で必要となる大型作業 船は近くにはないため、現地までの 回航費がかかる。今回、工法変更に よって撤去工に係る費用は増える が、大型作業船が不要となり回航費 がかからないこととなったため、事 業費の増減は生じないもの。</p>
<p>(重点審議) 一般国道13 8号 須走道路 一般国道13 8号 御殿場バイパ ス(西区間)</p>	<p>(資料5) P9 について、鋼桁断 面の設計にあたり、床版と鋼桁 が一体で挙動する合成効果を見 込むこととなると、設計上有利 になると考えられるが、事業 費増額との因果関係は如何か。</p>	<p>鋼桁断面の設計にあたり、合成桁 と非合成桁それぞれで設計計算を行 い、断面毎に厳しい側の条件を満足 するよう設計を見直しており、中間 支点部において、鋼桁断面の増加に よる増額が発生しているもの。</p>
	<p>CO2 の削減は現在の国際情勢 においても大変重要な視点で ある。渋滞の緩和はCO2 削減に 寄与するため、例えばP13の「代 替案立案等の可能性の視点」に 示すことができないか。</p>	<p>資料への反映について、検討させ ていただく。</p>

項目	意見・質問	回答
	<p>(資料5)P4にて開通後にボトルネックとなっている区間に速度低下が生じている状況が示されており、これは事前に予測できたものと思われるが、応急的な対応を考えているのか。</p>	<p>開通区間の現道取り付け部(終点部)では、交差点改良が残っており、一部の交差点に交通が集中している状況であるため、引き続き工事を推進していく予定である。</p>